

2013.11.05  
Fukuoka地域サミット2013

## FDCの取組みと今後の展望

事務局長

後藤太一

# お話ししたいこと

## ▶ ■はじめに

福岡は変わったか？

なぜ、どのような成長が必要か？

## ■ FDCの取組み

何をやってきたのか？

何をやっているのか？

## ■ 今後の展望

これまでの成果

FDC 2.0に向けて

# 3年間で世界は変わった。福岡は変わったか？

| 2011年   | 2012年  | 2013年  |
|---|--|--|
| <p>アラブの春</p> <p>ユーロ危機</p> <p>中国GDPが日本を抜く</p> <p>スティーブ・ジョブズ死去</p>          | <p>リーダー交代（中・露・仏・北朝鮮）</p> <p>ロンドン五輪</p> <p>尖閣・竹島問題</p> <p>中国成長目標を7.5%に引下げ</p> | <p>ローマ教皇交代</p> <p>ボーイング787安全問題</p> <p>ボストンマラソン爆発テロ</p> <p><b>2020年東京五輪開催決定</b></p> |
| <p><b>東日本大震災</b></p> <p>なでしこジャパン世界一</p> <p>大阪ダブル選挙</p> <p>テレビ地デジ移行</p>    | <p>国内全原発停止</p> <p><b>政権交代</b></p> <p>東京スカイツリー開業</p> <p>山中伸弥教授ノーベル賞</p>       | <p>日銀総裁交代</p> <p>日本再興戦略</p> <p>TPP交渉参加</p> <p>富士山世界遺産登録</p>                        |
| <p>九州新幹線全線開業</p> <p>JR博多シティ開業</p> <p>グリーンアジア国際戦略総合特区指定</p> <p>福岡県知事選挙</p> | <p>福岡都市高速道路全線開通</p> <p>KLM欧州直行便就航</p> <p>特定都市再生緊急整備地域指定</p>                  | <p>福岡市人口150万人突破</p> <p>グローバルMICE戦略都市指定</p> <p>国家戦略特区提案</p>                         |
| <p>FDC発足</p> <p>地域診断、地域戦略の検討</p>  | <p>地域戦略の策定</p> <p>部会の発足、地域戦略の推進</p>  | <p>地域戦略の推進</p> <p>第1回Fukuoka地域サミット</p>   |

# そもそも、なぜ、どのような成長が必要か？

## ■ 持続可能な地域づくりのためには成長が不可欠

- 成長 = 経済活動を通じて生み出される地域の総生産額 すなわち付加価値額の増加
  - 付加価値額 = 営業利益 + 人件費 + 減価償却費 + 賃借料 + 租税公課 + 特許使用料

### 成長が止まると

将来への投資の原資がなくなる

- 格差はさらに広がる
- 財政再建が困難になる
- 自立した地域経営ができなくなる

ヒトや金が集まらなくなる

- 現状維持すら難しくなる

世界経済における相対的な位置が低下する

- 企業間競争の優位性も低下する
- 今の絶対的な所得水準も低下する

### リーダーとしての役割

福岡は人口増加がしばらく続き、国内の他地域よりも成長の可能性が高い

- 九州や日本国全体の経済を牽引する役割がある

# Fukuoka D.C.とは

## ■ 福岡都市圏の成長戦略を策定から推進まで一貫して行う産学官民の連携組織

達成すべきこと

- 国際競争力の強化による福岡都市圏の持続的な成長

福岡都市圏 = 広域行政圏 (9市8町)

2011年4月設立

- 設立趣意
  - 地域経済をグローバル化
  - 産学官民が一体
  - スピード感を持って戦略を実行
  - 九州、日本、人類の発展に貢献

86の会員 (2013年10月4日現在)

- 正会員 58
- 特別会員 6
- 賛助会員 22



(注) 福岡都市圏広域行政推進協議会の対象エリア

これまでと何が違うのか？

# FDCは戦略を立案し実行する主体である

■ 戦略を立案し、当事者として実行するシンク&ドゥタンクである。



# 世界の目線で情勢を認識し戦略を組み立てている

■ 世界から人と投資を呼び込み、持続的な成長を目指している。





# 民間活力の投入と 公共政策の担保が連動している

■ 戦略の主要素が、福岡市マスタープランに位置づけられている。

福岡市マスタープラン

都市経営の基本戦略

① 「生活の質の向上」と「都市の成長」  
の好循環を創り出す

地域

人材

MICE  
都心

スタート  
アップ

② 福岡都市圏全体として発展し、  
広域的な役割を担う

 *Fukuoka D.C.*

福岡都市圏の  
成長戦略

8つの重点産業分野

×

8つのビジネス基盤

人材

MICE

都心

# 市民の主体的な参画の機会を増やそうとしている

■ 産学官の連携に留まらず、市民力を成長の源泉に位置づけている。



## Fukuoka 地域サミット 2013

2013.11/5(火)  
10:00~17:00  
(受付 9:15~)

参加申し込み受付中!

会場 ヒルトン福岡シーボーク1階 福岡市中央区地行浜2-2-3  
対象 FDCの活動に関心をお持ちの一般市民の皆様、FDC構成団体  
主催 福岡地域戦略推進協議会 Fukuoka D.C.

入場無料

産学官民一体で取り組む成長戦略

組織概要 福岡地域戦略推進協議会

新たな起業と雇用を生み出すスタートアップ都市 FUKUOKA

国家戦略特区にアイデア提案 福岡市と共同で「新...

都市再生フォーラム 2013年6月7日



Involve the citizens

They have many great ideas

#### RECENT POSTS



Jun Itano

総合設計制度の公開空地のあり方を変える。広場と商業の関係が導けるよう、公開空地には何かしら商業が附随できるよう設備やスペースを確保すること。のような。地代収入はOKとするなど。

See Translation

Like · Comment · Follow Post · Share · 25 minutes ago near Fukuoka-shi, Fukuoka



Kaoru Suehiro

明後日6月7日金曜日に、オランダを中心に世界中から招かれた都市デザインの専門家たちが考えてきた福岡を良くする提案を、市長らの前でプレゼンテーションします。彼らの結論は、中途半端に大きな夢のような計画を示してもリアリティが無いので、大きな方針だけを言葉で示すことと、同時にすぐにでもできる福岡を良くする小さなアイデアを100個集めて、きちんと実行してゆくことの方が大切だということです。その手始めのアイデアが、ツイッターやフェイスブックを使って明後日までできるだけ多くのアイデアを集めようということでした!!

See Translation

Like · Comment · Follow Post · Share · Yesterday at 1:38pm



Avery Morrow

Fukuoka is my favorite big city in Japan. I wouldn't change anything about Fukuoka. If you added trash cans like most people said here, then people wouldn't take responsibility for their trash as is the case in most of Japan.

The one thing I want the government to pay attention to is official support for yatai. Fukuoka should be encouraging more yatai, especially late at night. When people leave their evening izakaya and stop by at yatai, they always meet someone new and bring the city closer together. I don't understand why yatai are being shut down since both foreigners and Japanese love them.

Like · Comment · Follow Post · Share · 6 hours ago near Imari-shi, Saga

# 域外の知恵や資本を積極的に呼び込んでいる

■ 政府、域外企業、外国政府などと共に活動している。

## 域外企業

麻生  
伊藤忠商事 九州支社  
KDDI 九州総支社  
小堀哲夫建築設計事務所  
コングレ 九州支店  
清水建設 九州支店  
JTB九州 九州支店  
大成建設 九州支店  
ダズリング・ナイン  
都市再生機構 九州支社  
豊川設計事務所  
西日本電信電話  
日本コンベンションサービス  
日本電気 九州支社  
パイブドビッツ  
パシフィックスタージャパン  
日立製作所 九州支社  
富士通 九州支社  
ペーパレススタジオジャパン  
ミサワホーム総合研究所  
三井住友銀行  
三井住友建設 九州支店  
三井物産  
三菱電機 九州支社  
三菱東京UFJ銀行

## 域内団体

九州経済連合会  
九州先端科学技術研究所  
九州大学  
九州通信ネットワーク  
九州都市整備センター  
九州旅客鉄道  
九電工  
コカ・コーラウエスト  
西部ガス  
産学連携機構九州  
新出光  
新日本製薬  
JR博多シティ  
総合メディアカル  
正興電機製作所  
トクスイコーポレーション  
西日本シティ銀行  
西日本新聞社  
西日本鉄道  
福岡アーバンラボラトリー  
福岡アジア都市研究所  
福岡銀行  
福岡空港ビルディング  
福岡県  
福岡市  
福岡商工会議所  
福岡地所  
福岡リアルティ  
福岡住  
ふくや  
ホークスタウン  
松本組  
ラブエフエム国際放送

## 日本政府

内閣官房  
内閣府  
総務省  
経済産業省  
国土交通省

## 外国の政府・団体

オランダ  
シンガポール  
国際地域ベンチマーク協議会 (IRBC)  
国際社会実験 (Citymart / LLGA)

## 国際的なコンサルタント

日本経済研究所  
FTS Urban Design  
日建設計  
野村総合研究所  
Re:public

# 国からも地域活性化のモデルとされている

■ 経済財政諮問会議にて有識者議員が地域の協議会の強化を提言した。

## (2)コンパクト・シティ実現に向けた民間活力の導入強化

### ①地域再開発のためのPPP方式の導入

地域経済再生の司令塔として、地域の関係者(産学金官)が参画するプラットフォーム(協議会)を設置し、長期的な視野に立って戦略的な再開発、面的な地域開発を計画・推進。その際、準行政機関としての位置づけの付与、権限の移譲を検討。



### ○プラットフォーム (協議会)

(例)福岡都市圏では、78 団体 (産官学金) が参加して成長戦略策定から実施までを一貫して推進するシンク・アンド・ドゥ・タンクとして発足した「福岡地域戦略推進協議会 (F D C)」が、地域の新しい将来像を描き、そのためのプロジェクトを官民連携で実施しようとしている。

# お話ししたいこと

## ■はじめに

福岡は変わったか？

なぜ、どのような成長が必要か？

## ▶ ■ FDCの取組み

何をやってきたのか？

何をやっているのか？

## ■今後の展望

これまでの成果

FDC 2.0に向けて

# 設立に至る2つの背景

## ■ 世界の地域づくり

国際地域ベンチマーク協議会(IRBC)

- 各地域の国際競争力を高めることを目的に、指標やまちづくり成功例の共有を行っている国際ネットワーク。
- 産学官の実行委員会により、2010年の年次総会を福岡で開催。



メンバー地域の分布地図

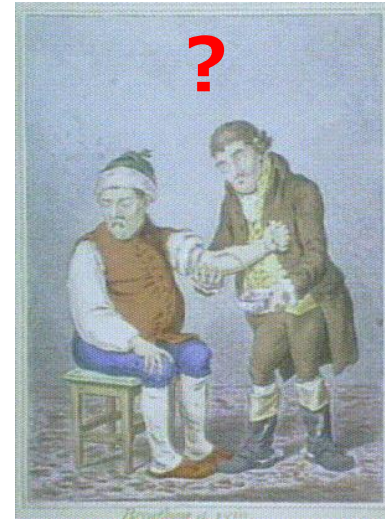
## ■ 日本の新しい公共

官民連携主体による地域づくり推進事業

- 法的支援制度の構築を行う上で、国の対等なパートナーとして選定（国交省2011～2012年度）
- 「官」の「縦割り」、「横割り」の制約や「民」の政策決定過程への関与の弱さを克服
- 地域の「官」と「民」が連携し、自発的に地域の活性化を進めることが必要
- 「官民連携主体」が地域戦略の策定段階から実施に至るまで一貫して関与することができるよう、国による支援制度の構築を行う

# 地域戦略の策定

## ■ 地域診断



## ■ 地域戦略

将来像、情勢認識、目標、戦略、工程、重点分野

# 徹底した地域診断を踏まえて情勢認識を共有した

■ 現実を冷徹に認識しつつ、攻めの姿勢と実現性のある戦略を策定した

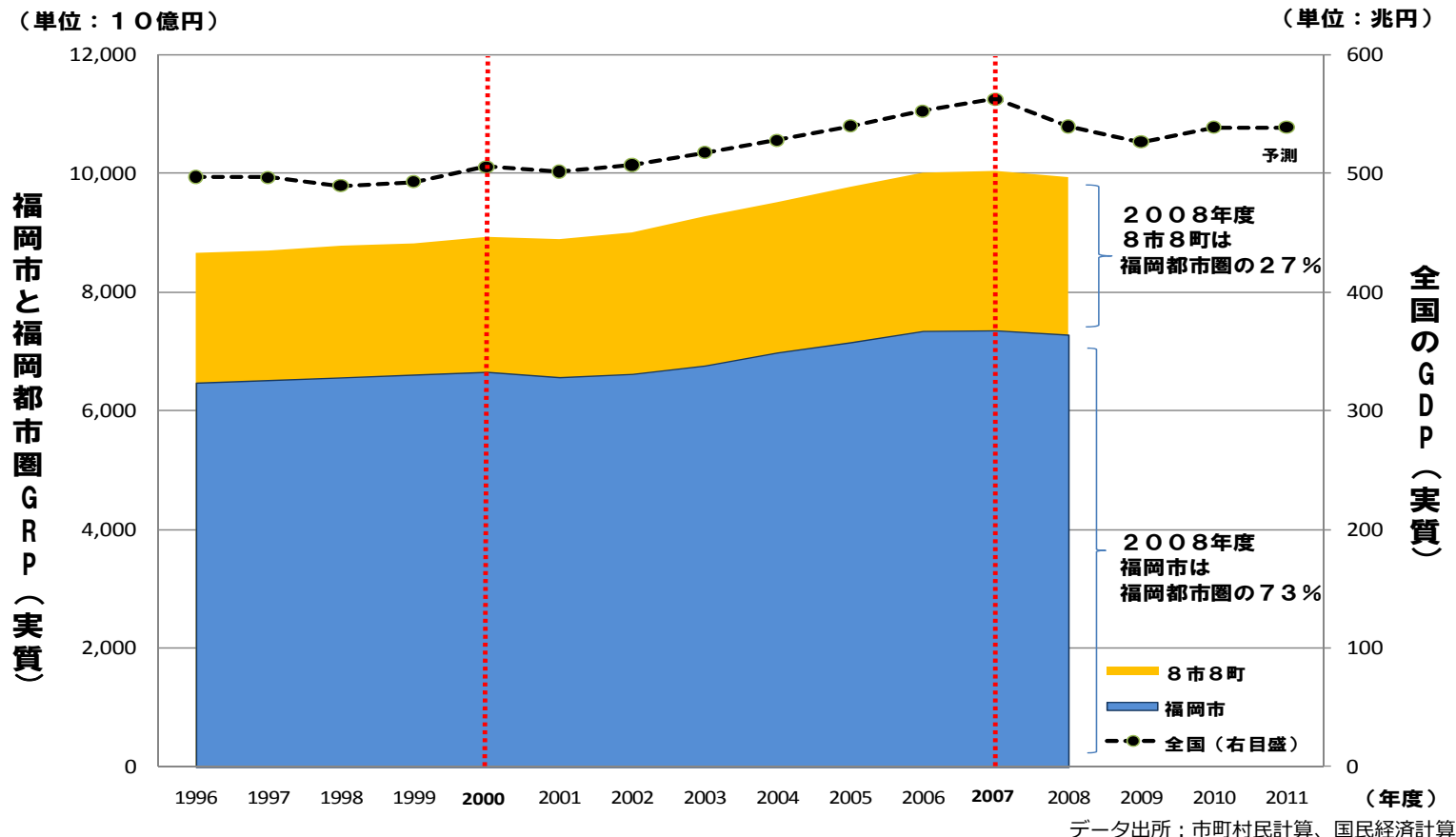
|        |  | 機会  | 脅威   |
|--------|--|---|--|
|        |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ アジアの成長</li> <li>■ 九州の統合深化</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人口減少</li> <li>■ 東日本大震災</li> <li>■ 世界経済危機</li> <li>■ 日本の国際競争力低下</li> </ul> |
| 強<br>み | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 東アジアの中心という戦略的な位置</li> <li>■ 高い暮らしの質</li> <li>■ 九州における中枢性</li> </ul> | アジアの成長と共にビジネス拠点として成長  | 多様な人材にとって住みやすく働きやすい環境づくり   |
| 弱<br>み | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 低い社会的多様性</li> <li>■ 断片化したリーダーシップ</li> </ul>                         | 産学官民パートナーシップによるスピードと責任ある推進  | 内需型産業の革新による雇用基盤の維持   |



# [地域診断の例] これまでの成長実績

■ 福岡都市圏の地域総生産額（GRP）は約10兆円(2007年度)。

■ 2000～2007年度で年平均成長率は1.7%。



全国並びに福岡市・福岡都市圏の総生産額推移

(注) GRP=Gross Regional Product 地域総生産、GDP=Gross Domestic Product 国内総生産

# [地域診断の例] 国際ベンチマーク（成長予測）

- 福岡市のGRP伸び率予測は年率1.7%。
- 2015年の実質GRP額の世界主要都市ランクは79位。
- 年率3%以上の伸び率は新興国の都市が中心。

世界主要都市の実質GRP

| 都市名       | 2008(実績)  |           | 2015(予測)  |           | 2008-2015 |             |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
|           | 順位        | 実質GRP     | 順位        | 実質GRP     | GRP増加額    | GRP伸び率      |
| 東京        | 1         | 1,479     | 1         | 1,608     | 189       | 1.7%        |
| ニューヨーク    | 2         | 1,406     | 2         | 1,597     | 151       | 1.8%        |
| ロサンゼルス    | 3         | 792       | 3         | 885       | 93        | 1.6%        |
| 大阪・神戸     | 7         | 417       | 10        | 449       | 32        | 1.1%        |
| 上海        | 25        | 233       | 17        | 355       | 132       | 6.6%        |
| ソウル       | 21        | 291       | 19        | 342       | 51        | 2.3%        |
| バンクーバー    | 68        | 95        | 73        | 109       | 14        | 2.0%        |
| <b>福岡</b> | <b>73</b> | <b>88</b> | <b>79</b> | <b>99</b> | <b>11</b> | <b>1.7%</b> |

4%～：サンパウロ、上海、ムンバイ、北京、デリー、広州、リオデジャネイロ、イスタンブール、カイロ、メトロマニラ、カルカッタ、テヘラン、バンコク、ジャカルタ、天津、ダッカ、リヤド、リマ、バンガロール、カラチ、チェンナイ、ホーチミン、ハイデラバード、重慶、アフマダーバード、ジェッダ、ブネー、ハノイ、瀋陽、アレキサンドリア、スーラト、ラホール、武漢、ラゴス、成都

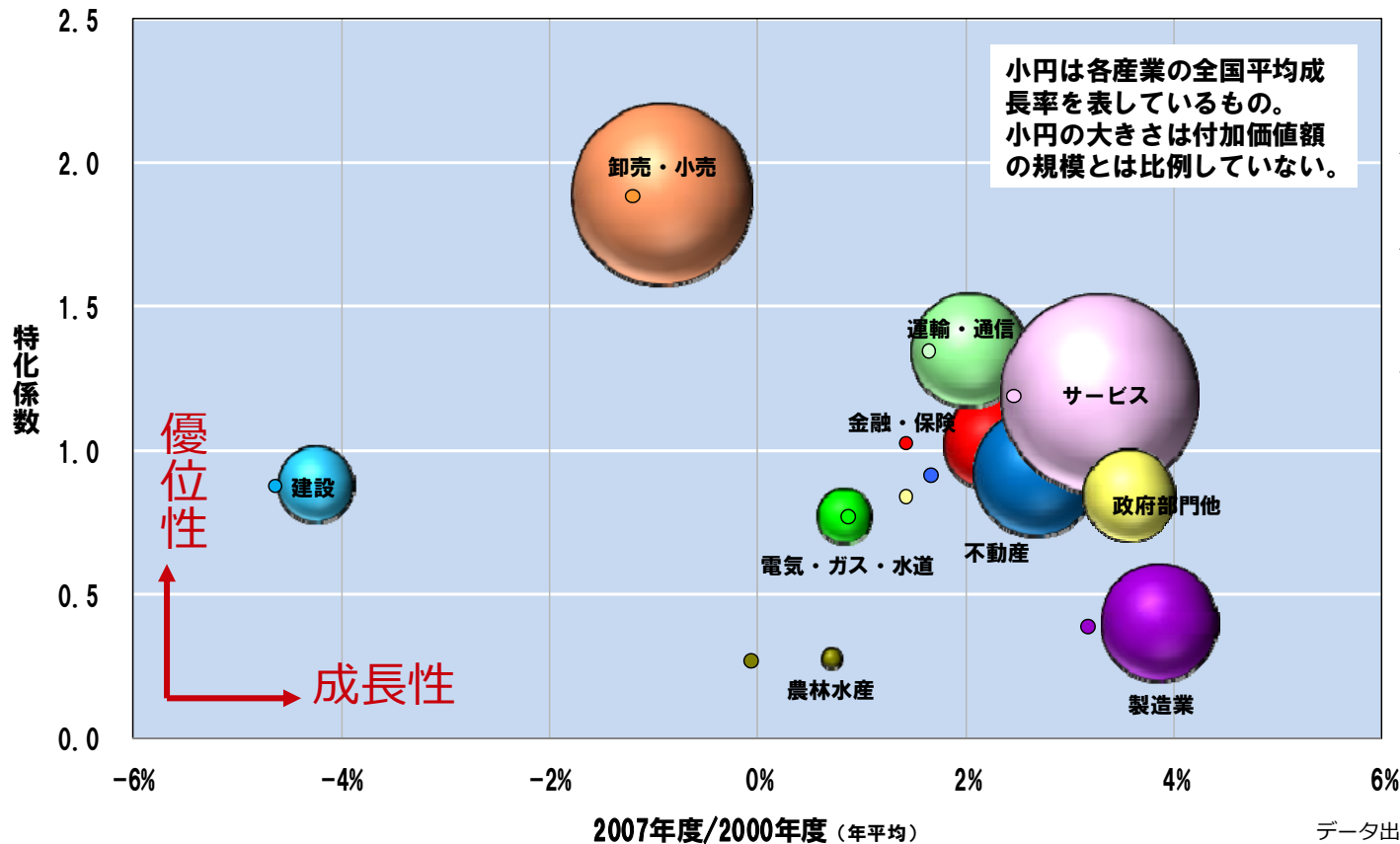
3%～：メキシコシティ、ブエノスアイレス、モスクワ、ブラジリア、サンティアゴ、ヨハネスブルグ、ボゴタ、モンテレイ、ケープタウン、グアダラハラ、サンクトペテルブルグ、ポルトアレグレ、ベロオリゾンテ、アンカラ、ダブリン

データ出所：PricewaterhouseCoopers UK Economic Outlook November 2009

(注) 伸び率は年平均、GRPの単位は10億ドル

# [地域診断の例] 産業別の優位性と成長性

- 国内優位性が高いのは卸売・小売、運輸・通信、サービス。
- 国内優位性が低いのは農林水産と製造業。
- 成長率が高いのは製造業、政府部門、サービス、不動産など。



(注)

- 各産業の円グラフは付加価値額ウエイト。
- 2007年度/2000年度は、付加価値額の伸び率。
- 特化係数は、2007年度実質。定義は、「福岡都市圏のA産業の付加価値額が全産業に占めるウエイト」を「全国のA産業のウエイト」で割ったもの。例えばA産業のウエイトが福岡都市圏で30%、全国で20%だとすると、特化係数は1.5となる。

データ出所：福岡県統計資料、県民経済計算

福岡都市圏の産業別特化係数と成長率

# [地域診断の例] 街づくりの実績と、これからの方向性

- 地域成長に対応し、全域に投資してきた結果、都市の骨格はほぼ完成。
- 量の充足から質の向上へと、都市開発の方向性の転換が必要。
- 成長の源泉の再構築には、良質な都市空間整備と産業基盤の強化が必要。

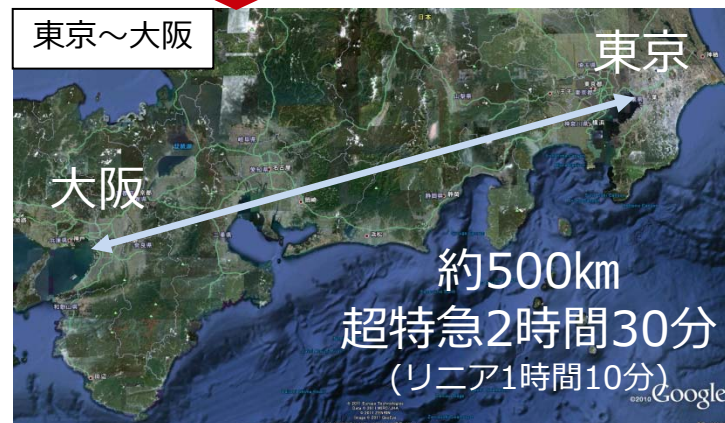
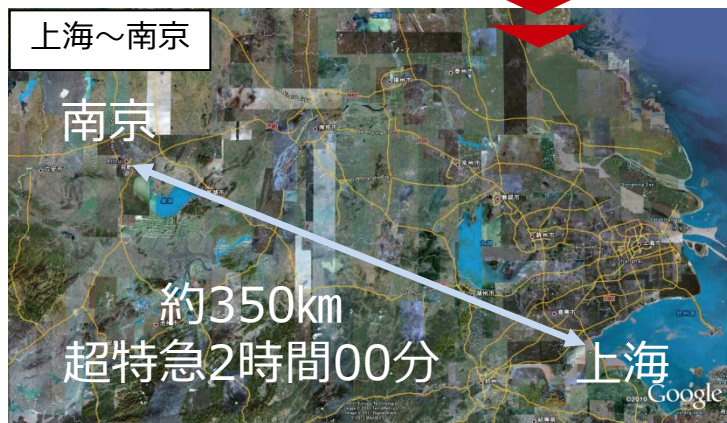
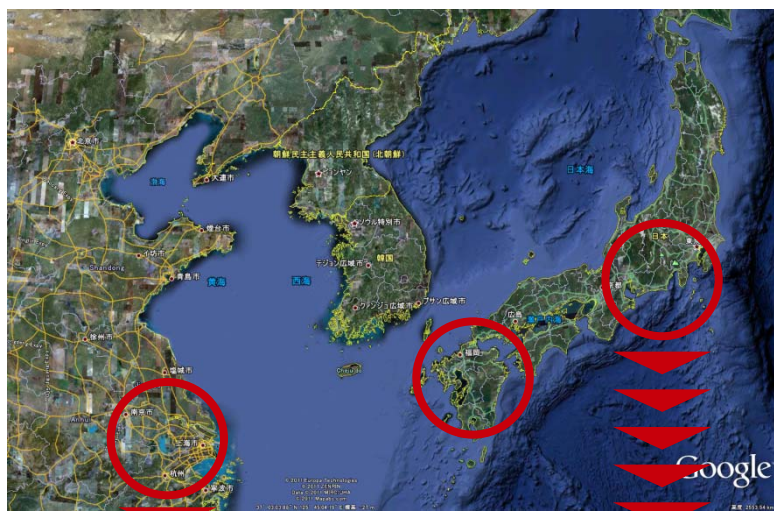


福岡都市圏の主要な都市基盤整備等への投資分布

データ出所：福岡市総合計画、九州データ・ブック、ヒアリング資料等

# [地域診断の例] 周囲で進む広域経済圏の形成

- 時間距離の短縮で「上海～南京」と「東京～大阪」は5千万人規模に。
- 将来的には、九州経済圏の規模を超える大きな視点が必要。



(出典)「伊藤滋の東京グランドデザイン2030」(地域開発2011.7)

# 地域戦略 (2012年4月策定)

# 情勢の認識

- アジアと共にビジネス拠点として成長することが必然、かつ可能  
国際貿易都市としての歴史を踏まえて、強みを伸ばし機会を活かす

- 強み

- 戦略的な位置（東アジアの中心）
- 高い暮らしの質
- 九州における中枢性
- 研究・教育機関の集積

- 機会

- アジアの成長
- 九州の統合深化

「写真提供：福岡市」

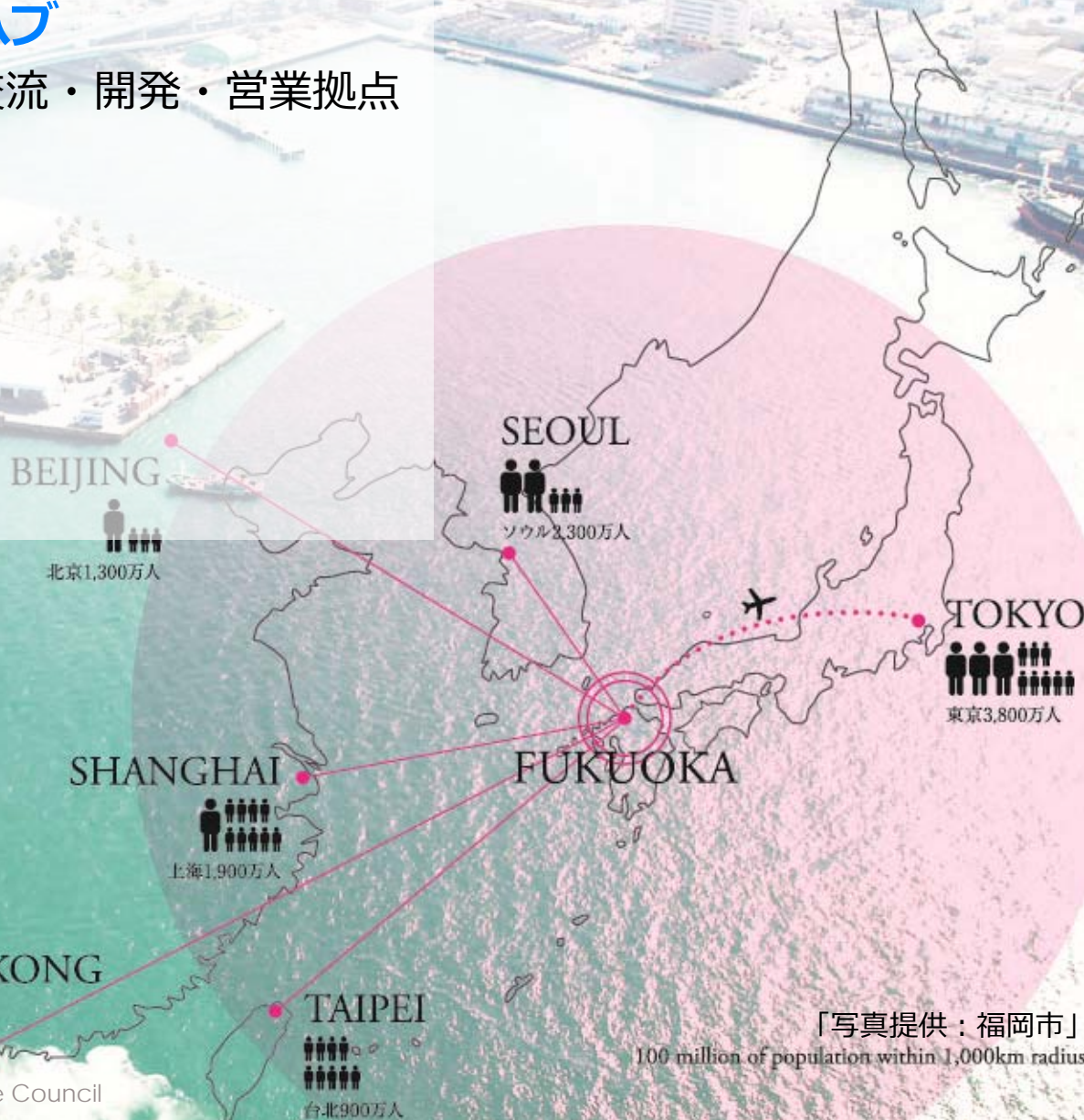
# 将来像の設定

## 東アジアのビジネスハブ

日中台韓のビジネス交流・開発・営業拠点

### ■ 持続可能な地域

- 経済
- 人材
- 移動
- 生活
- 環境
- 地域経営

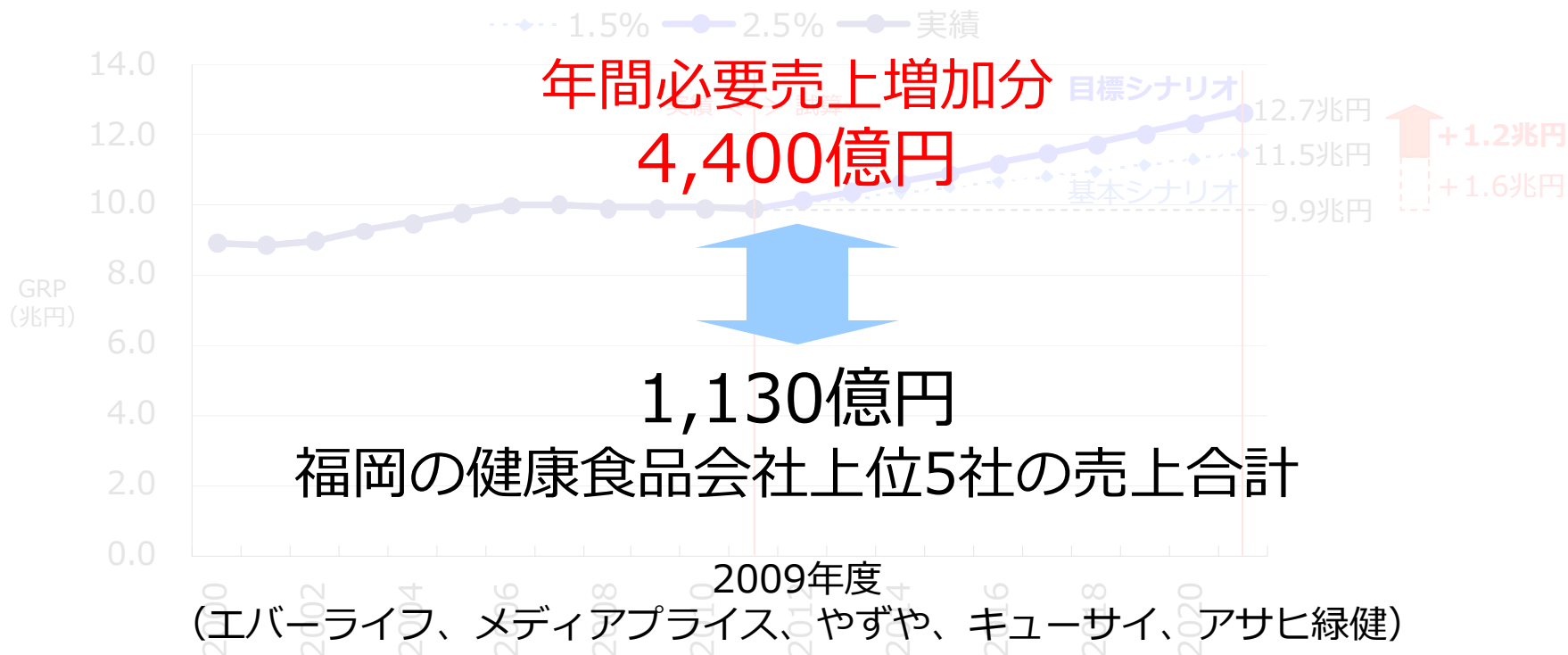




# 目標の数値化

## 10年間の達成目標

|            |                     |
|------------|---------------------|
| 域内総生産（GRP） | +2.8兆円（年平均成長率+2.5%） |
| 雇用         | +6万人（年平均成長率+0.5%）   |
| 人口         | +7万人（年平均成長率+0.3%）   |



# 戦略の策定

## 交流の活性化により 質を重視した成長をはかる



域外に向けて挑戦する  
環境をつくる

- アジア市場は引続き成長
- 時間距離短縮で経済圏は超広域化



人材の多様性を  
強化する

- 生産年齢人口の減少



革新的・創造的な  
交流の場をつくる

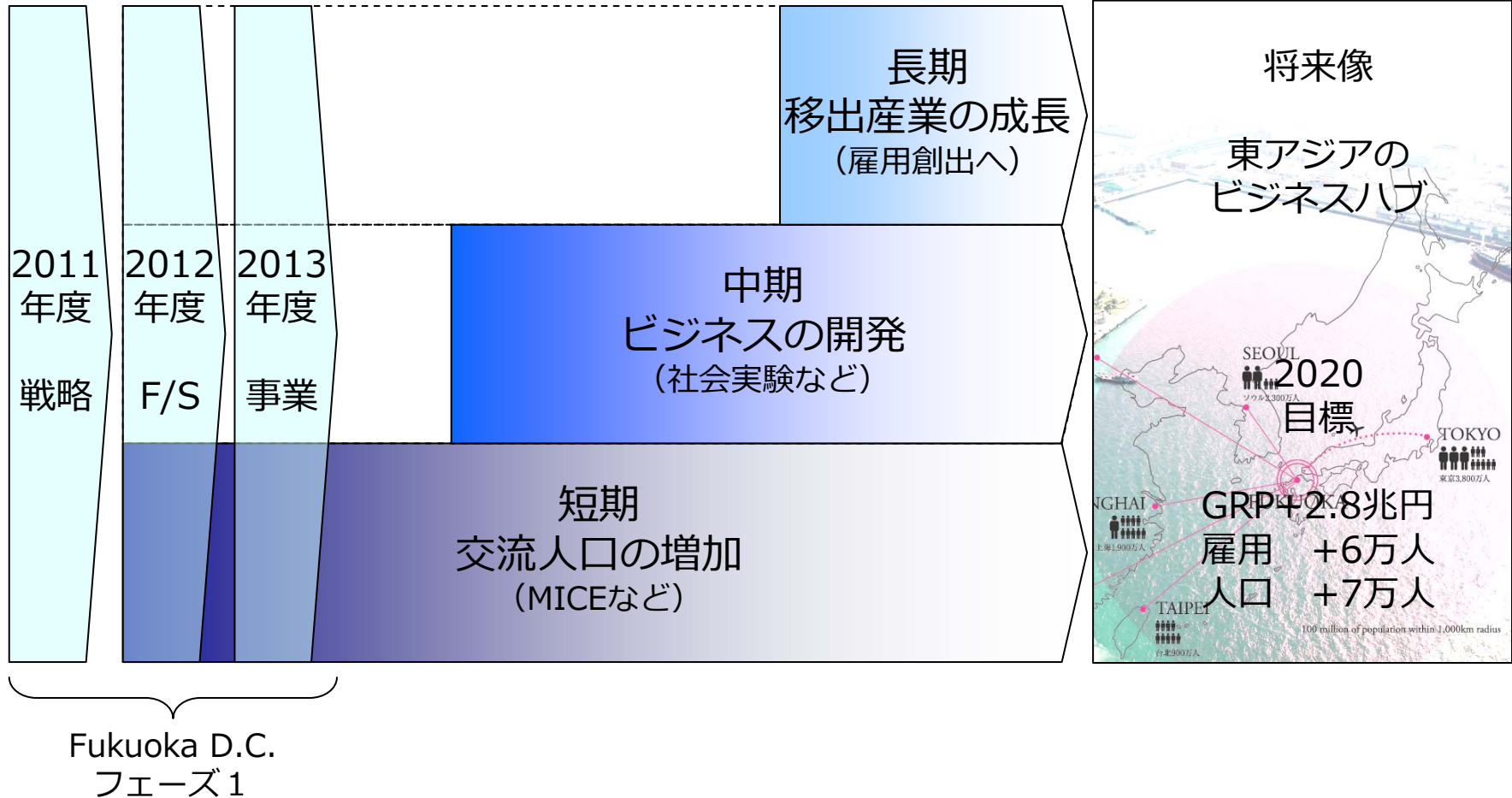
- 支店数の減少
- 後背地である九州の市場は縮小

(注) 域外（市場の需要を獲得する対象エリアとしては、九州域外を指す）

「写真提供：福岡市」

# 工程の組み立て

## 段階的に取組みを拡充



# 重点分野の絞込みと部会の設置

## 8つの重点産業分野

- ⑤ 高等教育の産業化
- ⑥ デジタルコンテンツ産業
- ⑦ ファッション産業
- ⑧ 集客・交流の産業化
- ⑨ 通販ビジネスの高度化
- ⑩ 食の6次産業化、海外展開
- ⑪ 生活関連サービスの高度化
- ⑫ グローバル企業・施設の誘致

## 8つのビジネス基盤

### 経済基盤

中小企業振興

資金調達

人材開発

社会実験

### 街づくり

都心

ウォーターフロント

交通ネットワーク

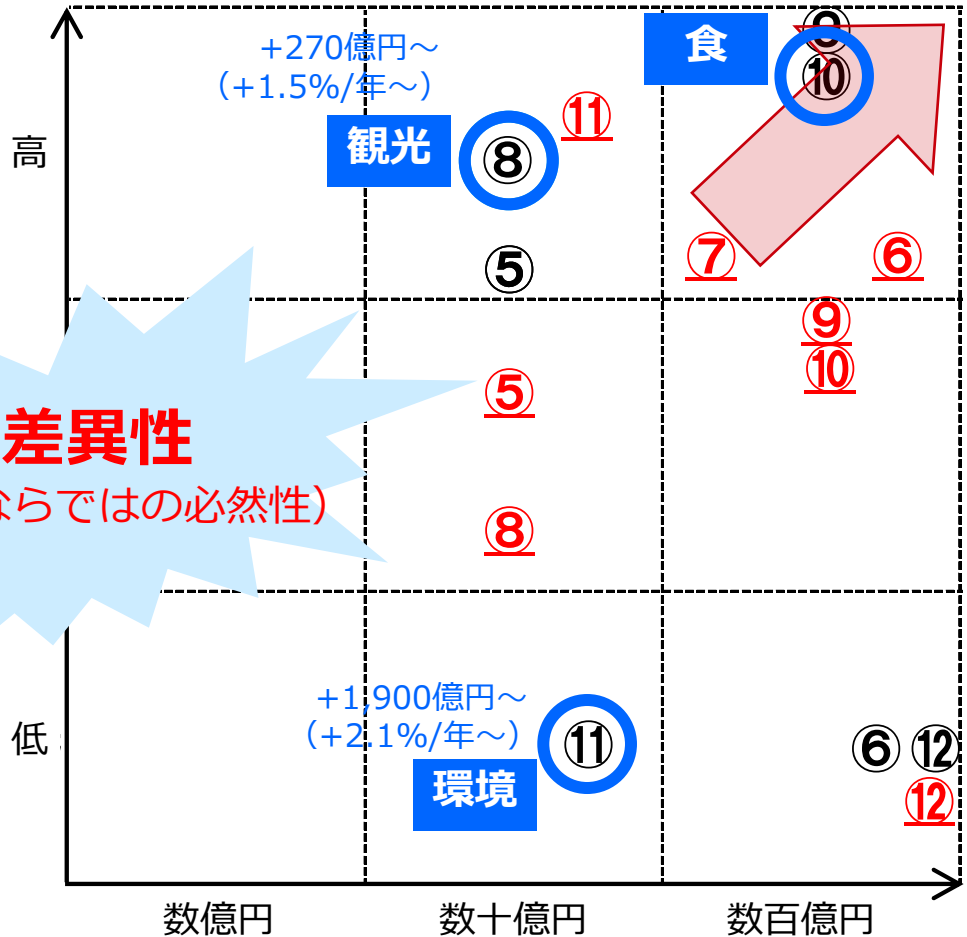
住環境

事業採算性  
(勝算、実現可能性)  
(担い手の見通し)

+1,200億円～  
(+1.5%/年～)

+270億円～  
(+1.5%/年～)

+1,900億円～  
(+2.1%/年～)



黒 = 福岡都市圏  
赤 = 全国 (平均)

成長性  
(10年後の市場規模)  
(九州への波及効果)

## Fukuokaの成長の源泉

福岡都市圏から外へ向けて挑戦する環境

人材の多様性

革新的・創造的な交流の場

## 東アジアの ビジネス ハブ

交流の活性化による“質”を重視した成長

雇用  
+6  
万人

GRP  
(県内総産出)  
+2.8  
兆円

人口  
+7  
万人

達成目標(2010年>>2020年)

# MICE

### 人材部会

グローバルコネクトハブ

### 都市再生部会

都心再生

### 観光部会

### 食部会

ブランド・ネットワーク

### 環境部会

福岡版スマートシティ構想

**Fukuoka D.C.**

産学官民一体

コンテンツ  
ファッション  
高等教育  
通信販売  
集客・交流  
食

生活関連サービス  
(環境、福祉など)

グローバル研究開発

### 重点産業

### 経済基盤

中小企業振興  
資金調達  
人材開発  
社会実験

### 街づくり

都心  
ウォーターフロント  
交通ネットワーク  
住環境

Fukuoka D.C.の取り組み(2013年2月)

# これまでの成果

# 何をやっているのか？

- 地域戦略の推進のため、MICEを軸として、テーマごとのプロジェクトを5つの部会にて推進している。



# 観光 国際的ビジネスイベントが盛んな地域へ

## ■ MICEビューロー

MICEの誘致受入、企画に特化した専門性の高いワンストップ組織を設置する



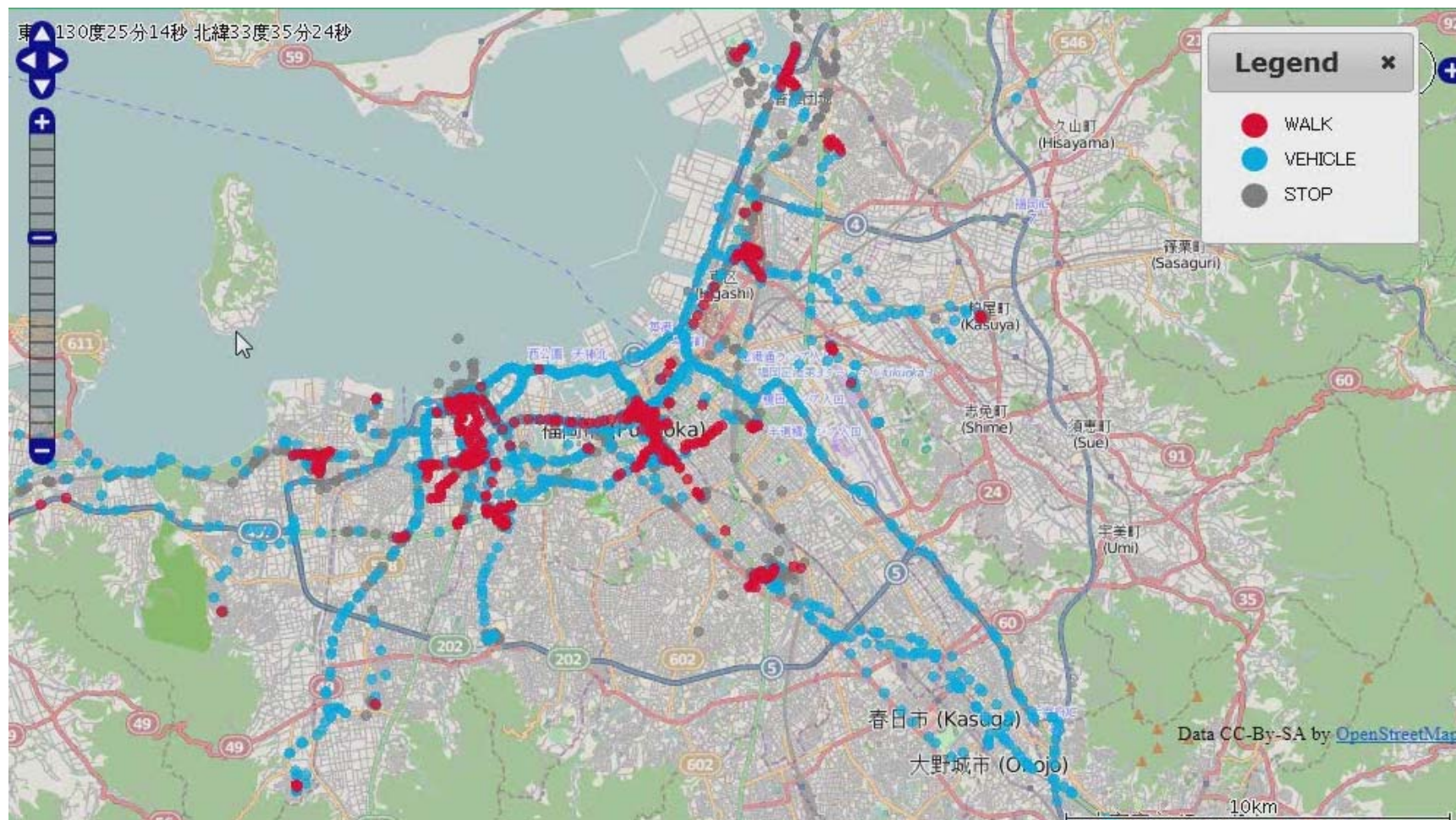
(写真：福岡コンベンションビューロー)



# 環境 人々がICTを使いこなす効率的な地域へ

## ■スマートシティ

生活インフラ全体を統合し、より効率的な都市づくりと持続的成長をはかる



(画像：日立製作所)

# 食 魅力的な食が人と投資を惹きつける地域へ

## ■ フード・エキスポ

福岡・九州の食産業及び周辺産業とのマッチング・イベントを通じて、  
福岡・九州の食文化の国際ブランド化、交流の活性化、産業の振興をはかる



# 人材 市民と共に新たな価値を生み続ける地域へ

## ■イノベーション・スタジオ

人材が流入し新しい価値を生み出していく「生態系」の中核機能をつくる

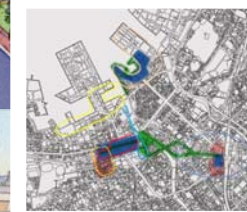


市民と企業の集合知による新しい製品・サービス、ビジネス、そして市場の創造

# 都市 世界から人を惹きつける都心のある地域へ

## ■ 都心再生戦略

イノベーション経済のエンジンとなる都心を段階的につくる行動を開始する



# お話ししたいこと

## ■はじめに

福岡は変わったか？

なぜ、どのような成長が必要か？

## ■ FDCの取組み

何をやってきたのか？

何をやっているのか？

## ▶ ■ 今後の展望

これまでの成果

FDC 2.0に向けて

# 協働の基盤を発展させてきた

## ■ 会員の増加

主に、域外企業が増加

■ 36→86 (設立時→10月4日現在)

■ うち、正会員23→58 / 特別会員6→6 / 賛助会員7→22

## ■ 市民理解の促進

フォーラムなど

■ 地域戦略フォーラム

■ 市民フォーラム

■ スマート・モビリティ・アジア

■ クリエイティブ・シェア・カンファレンス

■ 都心再生フォーラム

■ 国際社会実験 (LLGA) 報告会

メディア発信

■ 新聞、テレビ、雑誌、web、Facebookなど

## ■ 政府からの評価

内閣府経済財政諮問会議「地域経済再生の司令塔」

# 域外へのワンストップ窓口を確立してきた

## ■ 日本政府

- 内閣官房
- 内閣府
- 総務省
- 経済産業省
- 国土交通省

## ■ 外国の政府・自治体など

オランダ

シンガポール

国際地域ベンチマーク協議会（IRBC）

国際社会実験（Citymart / LLGA）

## ■ 対内投資受入支援

ウォーターフロント再生に関する開発・投資事業など

## ■ 域外企業へのビジネス開発支援

イノベーション・スタジオへの参画協議

複数の企業からの打診

# 事業者の目論見を検討してきた

## ■ 地域戦略の策定

## ■ 部会の設置・運営

## ■ 政策への反映

福岡市

- 基本計画
- 観光戦略
- 都市計画マスタープラン／都市交通基本計画（意見募集中）
  - MICE機能の強化

国家戦略特区（福岡市と共同提案済）

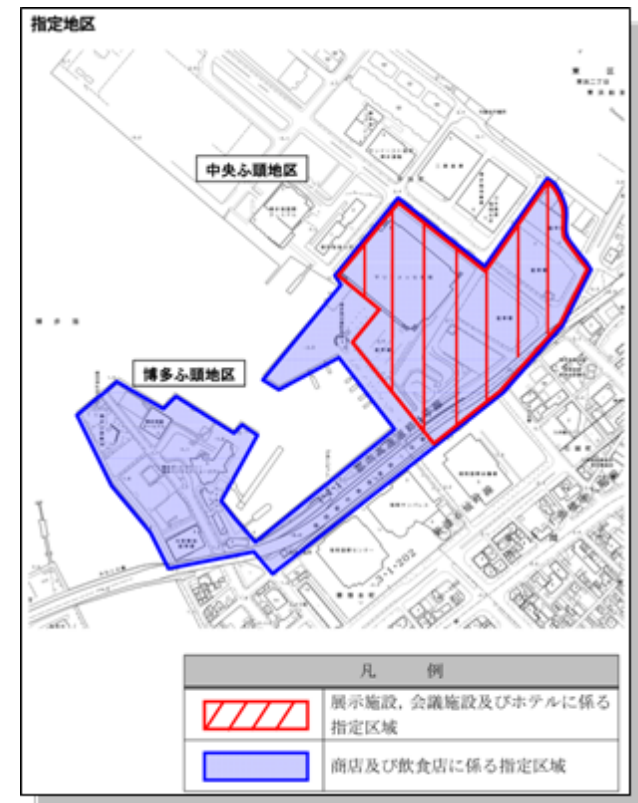
## ■ 規制緩和

構築物の用途制限の緩和（臨港地区条例改正）

## ■ 事業者の目論見

MICEビューロー

ウォーターフロント・エリアマネジメント



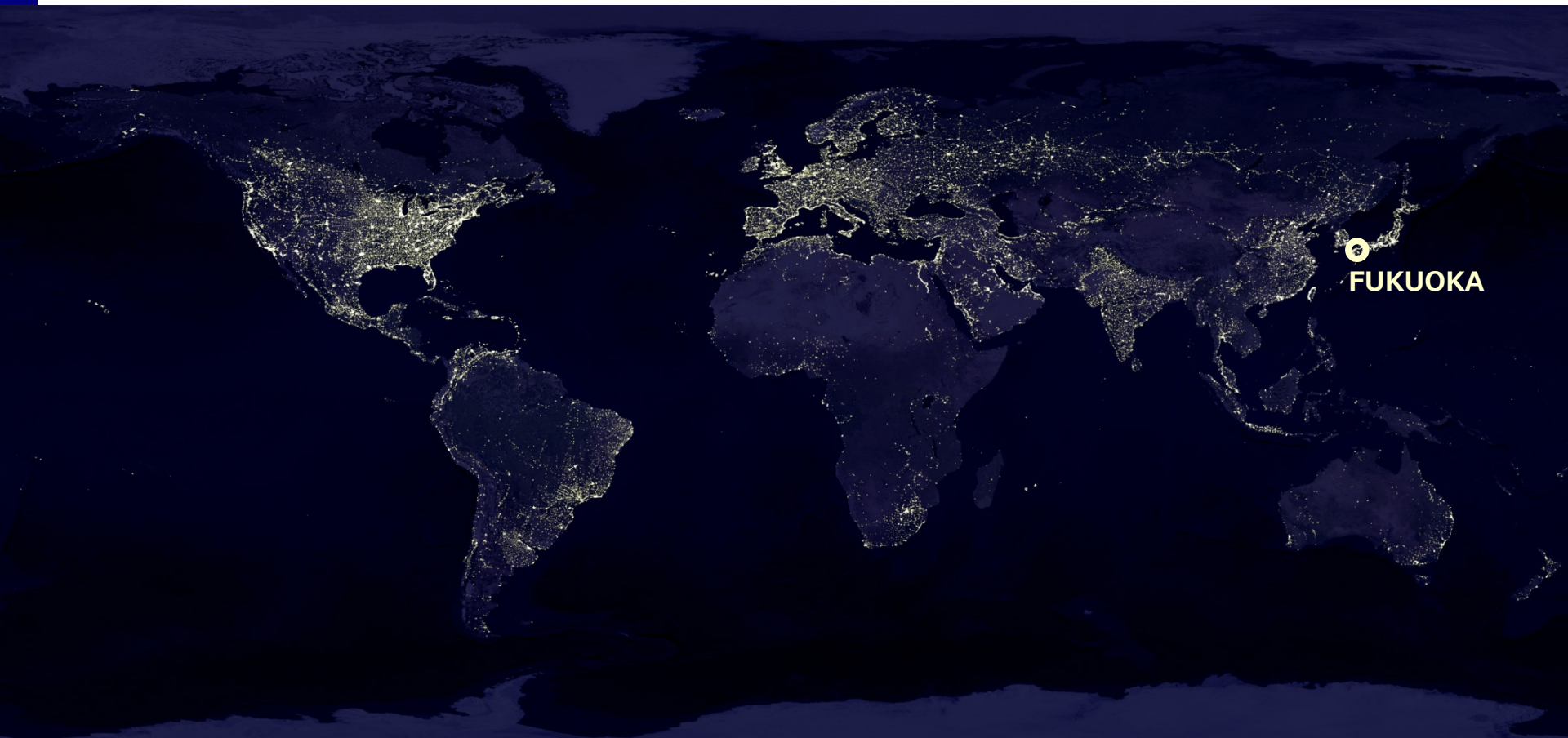


# 2020年の世界

## ■ 世界地図に載る福岡

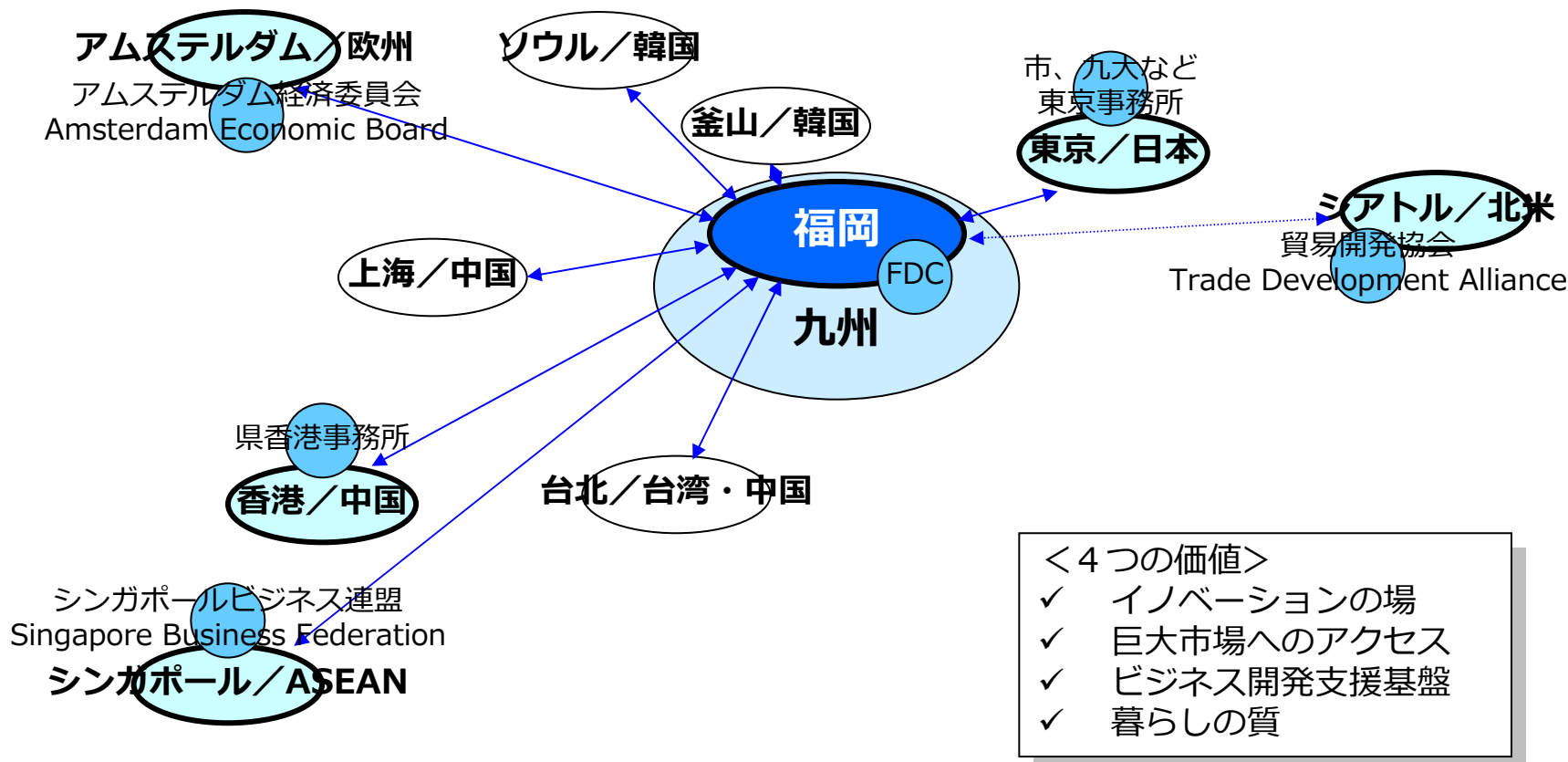
## ■ FDC戦略目標の達成へ

GRP +2.8兆円、雇用+6万人、人口+7万人 + 国際会議件数+23件（世界50位）



# 世界に選ばれる福岡の価値をつくる

## ■ 成長株企業のビジネス開発を支援する4つの価値を提供していく





## プロジェクトから社会運動へ

